



施設名	NIPPONIA五個荘 近江商人の町 外村宇兵衛邸
所在地	五個荘金堂町645番地
開業予定日	9月1日(木)
料金(税別)	80,000円+サービス料金(12,000円/人×人数)
1泊朝食付き	※夕食は、施設近くの飲食施設を案内
定員	10人



歴史的資源を

活用した

観光まちづくり

五箇荘駅を起点にした
観光誘客を目指して

①竣工式で小椋市長は、歴史的な資源を活用したまちづくりへの思いを述べました。②鏡開きで竣工を祝う(左から)小寺裕雄衆議院議員、中條絵里滋賀県副知事、小椋市長、西澤議長、藤原岳史代表取締役(株式会社いろは) ③オープニングイベントでは、細田佳揮さん(和太鼓奏者・てんびん太鼓響音出身)による力強い和太鼓の音が響き渡りました。④蔵を改修した研修室兼シアタールーム ⑤座敷から眺める鈍穴流の庭に癒されます。⑥檜の香りに包まれた広々とした高級感のある脱衣所 ⑦大開口の窓で明るく開放感のある浴室 ⑧近江商人の息遣いを感じる座敷。東近江産材を使用した机が設置されており、木のぬくもりを楽しめます。⑨2階の寝室は、高級ブランドのベッドが眠りを演出 ⑩土間をいかし、今と昔が交錯するダイニングキッチン

※分散型ホテルとは、地域の歴史的建造物や空家をリノベーションし、フロントや客室、飲食などの機能をそれぞれの棟に分散させ、まちを丸ごと一つのホテルにすることで、宿泊した人たちが自ずとまちを回遊し、地域に活力をもたらす仕組みのこと。



先人から受け継いだ歴史的資源を活用

五個荘近江商人屋敷 外村宇兵衛邸

本市は、多様性のある自然の中に千年を超える歴史、文化、伝統が息づくまちです。こうした地域資源を磨き上げ、観光政策にいかすことで、「行ってみたい」「住んでみたい」と思ってもらえるまちになることを目指しています。

今回は、一棟貸しの宿泊施設に改修した五個荘近江商人屋敷外村宇兵衛邸と近江鉄道五箇荘駅を起点とした観光資源の活用について紹介します。

◆ 景観を未来へつなぐ

五個荘金堂地区は、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしの精神の理念を生み出した近江商人発祥の地で、近江商人屋敷が並ぶ風情ある町並みを形成しています。また、国の重要伝統的建造物群保存地区や日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」折りと暮らしの水遺産」にも選定されており、これまで地域の皆さんの努力で景観が保存され、誘客推進を図ることができました。

◆ 新たな観光のまちづくり

この立地をいかし、本市での滞在時間の延伸や新たな観光誘客の取組として、古民家などの歴史的資源を活用した分散型ホテル事業(※)を

全国展開する株式会社NOTE(兵庫県丹波篠山市)と連携協定を締結し、近江商人屋敷の一つである外村宇兵衛邸を宿泊施設として活用するため改修工事を行いました。

◆ 新たな第一歩 「保護」から「活用と保存」へ

今回の改修は、江戸末期万延元年(1860年)建築で、築160年の時を経た市文化財史跡指定の建物を、近江商人の三方よしの精神を体感できるプログラムを取り入れた宿泊施設として整備しました。外観の趣は残しつつ、内装や設備、蔵、厨房をリノベーションし、新たに浴室棟を設けました。

これは、これまでの文化財の「保護」から一歩踏み出し、「活用と保存」の好循環で本市の大切な歴史的資源を未来にいかし、残していく新たな第一歩となるものです。

◆ 運営は民間のノウハウで

施設の運営は、本市と株式会社NOTEが共同出資して設立した「株式会社いろは」が担い、宿泊事業を展開。今後は、この外村宇兵衛邸を起点に分散型ホテルとして事業を展開していきます。

